

ぴーちっこ

発行 社会福祉法人 聖友ホーム
聖友乳児院（乳児院）
聖友学園（児童養護施設）

聖友ホーム応援団 聖友ホーム ささえ隊 会員募集中!

『ささえ隊』について詳しくは HP またはチラシをご覧ください



ようこそ 聖友乳児院へ! 杉並学院高等学校の生徒さん ご来院



「未来ある子どもたちの力になりたい」と 売上金を寄付して下さるバザーを企画

梅雨明け直前の夏日が続く 7 月 13 日、阿佐谷にある杉並学院高等学校 3 年 9 組の代表の生徒さん 12 名と引率の高橋教諭が来院されました。

秋の学園祭で、クラスの出し物としてバザーを行なうそうですが、その売上げを当院に寄付していただけるとのこと。『未来ある子どもたちの力になりたい』という思いから、地域にある聖友ホームを選んで下さったそうです。

ご来院の機会に、みなさんへ『乳児院の概要および現状・役割・課題』について説明をさせていただきました。生徒さんたちは、初めて入るであろう“乳児院”という施設に緊張しつつも、入所してくる子どもたちのおよそ半数が虐待されていたということ、生後 5 日目に入所するケースもあるという様々な現状を知り、驚きと同時にそれぞれ強く感じるどころがあったようです。

文化祭に向けた自分たちの頑張り、成果の行き先が薄つすらながら見えたことは大きな励みになることでしょう。また、この機会により児童福祉に興味をもち、近い将来の進路選択の 1 つと考えてもらえる生徒さんがいらっしゃるようであれば、この上ない喜びです。

文責：副院長 竹内正樹



中島院長の説明に、熱心に耳を傾ける生徒さんたち

MOGU★MOGU

このコーナーでは、とっておきの行事食をご紹介します。

今回は「七夕」。

カレー、スープ、デザートのカレーに、お星様いっぱいです!



※ 写真は、給食用務担当職員のプロクより。聖友ホーム HP から『聖友のプロク』もぜひご覧ください

生い立ちの整理

今年6月、聖友学園では外部講師をお招きし、職員を対象とした『生い立ちの整理』の研修会が行なわれました。児童養護施設の子どもに対する支援として近年重要視されるこの取り組みについて、聖友学園・心理療法担当職員の永井啓太がご報告します。



生い立ちの整理とは

「自分はなぜこの施設にいるのか」「いつから、いつまでいるのか」など、自分について知らないままだと心が不安定になり、「自分はこの先どうなってしまうのか」と不安にかられ、将来の見通しも立たなくなってしまう。そこで、重要な事実(入所理由、家庭状況など)を本人が知り、その事実を支援者と分かち合い整理することで心の安定を図り、子どもが自己肯定感を高めていくよう支援します。

具体的には、子どもの発達に応じて疑問に答える、出自や生い立ちを適切に伝える、誕生日を祝うなどをはじめ、子どもが肯定的に自分を形成していくよう様々な方法で支援します。

聖友学園では

まず、どの子どもにも「あなたのことを大切に思っているよ」と態度でも言葉でも示し、[安心・安全な場の提供]を大前提としています。その上で、子どもの誕生日を把握しておき「おめでと〜」とたくさんの職員が声をかける、「〇才のとき△△へ行って楽しかったね」と思い出話をするなど、子どもが「見守られている」という実感を抱けるようなコミュニケーションを日々心がけ、子どもと職員の密な関係づくりに努めています。

昨年から育成委員会で『生い立ちの整理』について勉強を始め、今年は研修会を実施しましたが、これからさらに職員同士が連携をとって、『生い立ちの整理』に基づく取り組みを段階的に進めていきたいと考えています。

生い立ちの整理 体験談

聖友ホームに関心を寄せて下さり、見学に来ていただいた阿佐谷在住の青年に、自分が育った児童養護施設での体験を含め、どのように生い立ちを整理されたのかお話をうかがいました。



光石正美さん

(23歳 福岡県出身/森口建設(株)勤務)

児童養護施設時代の記憶が生きる活力源に

19歳のある日のこと。少年院のテレビで1本のドキュメンタリー番組を観ました。主役は、児童養護施設で働く一人の女性職員。献身的に子どもに尽くす姿が、私が育った施設の先生方と重なり、当時のことが鮮明に思い出されました。病気をすれば付きっきりで看病してくれた、危険な行動を本気で叱ってくれたなど記憶がよみがえると、ある感情が一気にあふれ出てきたのです。「そうだ！自分も施設の先生たちに大事に守られて育ったのだ」と。更正の意欲が芽生えた瞬間でした。

2歳で預けられた施設から、小学2年生のときに実母と養父に引き取られ、5年生頃から家庭環境に不満を抱き、家に居たくないなどの理由から素行不良に。16歳で独り暮らしを始め

たものの、非行を繰り返していた10代。将来に希望をもてず、自分に自信もなく、自暴自棄になっていたと思います。

そんな私が「逃げないで生きてみよう」と決意できたのも、親以上に愛情をもって関わってくれた施設の先生方の存在を、改めて認識することができたから。

生い立ちを振り返り、過去を前向きに整理できたことで、生きる活力が湧いてきました。

そして、「自分もきっと人の役に立てる」という自信も生まれ、まだ漠然としています、「(過去の自分のように)生きづらさを抱え、サポートを必要とする青少年の力になりたい」という夢をもてるようにもなりました。私にとって児童養護施設は『心のふるさと』。本当に感謝しています。

第4回

委員会活動紹介 ———— 学園・乳児院は、共に7つの委員会を設けています。 ————

それぞれの委員会に全職員が関わり様々な活動をしています。
 今回は学園の保健委員会、乳児院の養育委員会をご紹介します。

委 員 会	
学 園	●育成 ●余暇 ●進路 ●保健 ●防災防犯 ●地域交流 ●リスクマネジメント
乳児院	●養育 ●看護 ●マニュアル整備 ●お楽しみ実行 ●防犯防災 ●地域交流 ●リスクマネジメント

保健委員会

健康・衛生管理をはじめ
 さまざまな業務にあたっています

保健委員会では、年2回健康診断のセッティング、季節ごとに流行しやすい病気（インフルエンザや食中毒など）に対し嘱託医や調理職員と連携して予防に努めるなど、子どもたちの健康を保つことに従事しています。その他、学園内のゴミの管理、砂場の砂の管理、植木の選定、雑草の除去など、業務は多岐にわたっています。

ゴミの分別の学習や保健新聞の発行も

年1回、幼稚園児を中心にゴミの分別を学ぶべく、清掃局とタイアップして杉並区のイメージキャラクター「なみすけ」と「ナミー」を呼んで、楽しみながら学習をしています。



また、子どもたちに健康や病気予防に関心をもってもらうため、季節ごとに保健新聞を発行。イメージキャラクターとして登場する犬の「もこちゃん」「ゆうくん」は子どもに大人気です。

養育委員会

同月齢保育の実施

養育委員会では、乳児院にいる子どもにとって「どんな養育が必要か」を話し合い、計画・実行しています。

例えば、普段は月齢の異なる子どもたちで構成された縦割りの“いちご組”と“もも組”に分かれて生活しており、同じクラスの友だちと遊ぶことがほとんどですが1カ月に2回、発達に合わせた遊びをさせることと、クラス間交流も兼ね、2クラスの子ども全員を月齢ごとの3チームに分けて、『同月齢保育』を実施しています。



同じ月齢の他のクラスの子どもと遊ぶと、普段の生活では見られない姿・新たな一面を見ることができます。少し緊張しながらも、色々な刺激を受けて成長していることを実感します。

そのように成長する子ども姿を見られることは喜びですが、同時に、その取り組みをどう発展させていくかという課題には難しさも感じています。

また、乳児院の新たな取り組みとして、今年10月に初めて『お泊り保育』を長野県軽井沢で実施する予定です。昨年からマニュアルを作り始め、1からの計画は大変でしたが、実際の子どもの反応はもちろん、それによって乳児院にどんな変化がもたらされるか楽しみにしています。

平成28年度 社会福祉法人聖友ホーム決算報告 平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位:円)

		法人本部	聖友乳児院	聖友学園	自立援助基金	松坂自立援助基金賛助会			
事業活動による収支	収入	措置費収入	0	348,111,338	271,227,561	0	収入	会費収入	352,800
		補助金収入	0	48,139,000	105,553,977	0		寄付金	10,400
		寄附金収入	505,174	449,918	2,890,326	350,000		収入計	363,200
		受取利息配当金収入	4,587	73,412	22,829	2,651	支出	振込手数料	13,680
		その他の収入	1,115,826	6,784,325	8,554,899	0		郵送料	12,122
	経常収入計	1,625,587	403,557,993	388,249,592	352,651	印刷費	302		
	支出	人件費支出	1,422,403	261,353,852	239,873,651	0	残高証明発行	102	
		事業費支出	4,000	30,977,497	58,594,847	0	寄付金(基金へ)	350,000	
		事務費支出	2,525,267	27,258,040	28,999,096	216	支出計	376,206	
		その他の支出	0	136,246	3,124,050	0	当期収支差額	-13,006	
経常支出計		3,951,670	319,725,635	330,591,644	216	前期繰越金	83,051		
事業活動資金収支差額		-2,326,083	83,832,358	57,657,948	352,435	次期繰越金	70,045		
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計	0	3,015,250	0	0			
	支出	設備資金借入金元金償還支出	0	1,090,000	0	0			
		固定資産取得支出	0	4,309,967	1,664,172	0			
		施設整備等支出計	0	5,399,967	1,664,172	0			
施設整備等資金収支差額		0	-2,384,717	-1,664,172	0	0			
その他の活動による収支	収入	長期貸付金回収収入	0	0	0	15,000			
		積立資産取崩収入	0	0	6,449,480	0			
		拠点区分間繰入金収入	2,362,000	0	0	0			
		その他の活動収入計	2,362,000	0	6,449,480	15,000			
	支出	積立資産支出	0	79,455,670	60,824,146	0			
		拠点区分間繰入金支出	0	1,181,000	1,181,000	0			
		差入保証金繰入支出	0	0	0	0			
その他の活動支出計		0	80,636,670	62,005,146	0				
その他の活動資金収支差額		2,362,000	-80,636,670	-55,555,666	15,000				
当期資金収支差額合計		35,917	810,971	438,110	367,435				
前期末支払資金残高		7,834,913	83,141,450	71,468,173	10,237,150				
当期末支払資金残高		7,870,830	83,952,421	71,906,283	10,604,585				



「ありがとうございました」 平成29年1月～平成29年7月 (敬称略)

〈寄附金〉 淡路真太郎、石井昌宏、(株)日配運輸、東京信用組合協会、松倉公子、森裕恵、一般財団法人東京青少年文化協会

〈寄付物品〉 阿久津梨津子、花王(株)コーポレートコミュニケーション部門社会貢献部、一般財団法人東京青少年文化協会、井上英樹、カーブス南阿佐ヶ谷店、(株)エーケーエス、(株)ガイア、(株)公益社、(株)兵左衛門、(株)ベルン、河崎弁護士、川田かおり、合同会社文屋、佐藤伸子、セカンドハーベスト・ジャパン、東京第三友の会、東京都食肉生活衛生同業組合、ネイルサロンミニカ・スルザ、林暁子、原みさ子、樋口真沙恵、フィリップモリスジャパン(株)、藤田節子、星野恵子、(有)アーバンライフ、吉田真理

〈バースデープレゼント〉 朝倉良江、荒井美智子、磯野和子、岩下英之、内山真規子、酒井香子、佐々木昭祐、清水敦子、杉本千景、杉本秀哉、杉本洋子、武村明子、二宮徳子、野口由理、野村栄子、早水良子、比嘉芳子、福山はつ子、丸翠、宮秋智子、村上千代子、茂手木暁子、茂手木政則

〈招待〉 高島屋労働組合

※そのほか匿名で様々な寄附をいただきました。ありがとうございました。

● 編集後記 ●

今号では『生い立ちの整理』という支援について簡単にお伝えしました。難しくも重要なこの取り組みについて、今後も折に触れご報告できたらと思います。なお、「広報誌ひーちっこ」へのご意見・ご質問、大歓迎です！ 下記のEメールアドレスまで、よろしくお願いたします。



発行 社会福祉法人

聖友ホーム

聖友乳児院(乳児院) 聖友学園(児童養護施設) 〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-28-19

聖友乳児院 TEL 3338-1849 FAX 3338-4679

聖友学園 TEL 3338-1844 FAX 3338-1894

Eメール sasaetai@seiyuhomu.or.jp ホームページ http://www.seiyuhomu.or.jp/